

看取りを希望されるご家族（成年後見人 etc）へ

大切な方の旅立ちを支えるために



社会福祉法人一廣会
特別養護老人ホーム かないばら苑



安らかに旅立っていただくために

ご自宅や施設で生活し、療養を続けてこられ、看取り期が少しずつ近づいている事を、ご家族（成年後見人 etc）の皆様は察していらっしゃるかと思います。

ご自宅や施設で看取るためには、以下のことを知っておくことが必要です。



1. 旅立ちが訪れるまでの身体の変化

2. 旅立ちのとき

3. 旅立たれたあとに

🍃 旅立ちに至るまでの身体の変化はすべての方に見られるわけでも、また必ずしも順序通りに起こるわけでもありません。個人差があります。

これから説明する身体の変化は旅立ちに至るまでの自然な経過です。

🍃 可能であればご家族内で話し合い、交代で見守りできるように調整されるのもよいでしょう。また施設にご家族が宿泊し、共に過ごすことも可能です。

🍃 ご本人が不快や苦痛を感じていると思われるとき、またご本人の状態で分からないことや不安なことはいつでも看護師、介護職員、相談員にお尋ねください。

お看取り後に着る服のご準備をお願いします

ご本人が用意された服、ご家族（成年後見人 etc）が着せたい服、ご本人が気に入っていた服などなんでも結構です。息を引き取られたあと、お体をきれいにした後に着ていただきます。



1. 旅立ちが訪れるまでの身体の変化

眠っている時間が多くなります

体力が低下し、起きていることができなくなります。ご本人が好きだった音楽をかけたり、体に触れたり、髪をとかして差し上げることで心地良く感じ、ゆっくり休めます。



食欲が低下して、飲み込みが出来なくなります

だんだんと食べられることが少なくなってきました。無理に食べて頂くよりも、お元気な頃に好きだった食べ物をお持ちください。一口しか食べられない場合もありますが、好きな食べ物の匂いを感じるのも「食事」です。

意識がもうろうとして、意味不明な言動や大声を上げることがあります

そばに付き添い、穏やかに優しく語りかけ、見守ってください。

唇や皮膚が乾燥し尿量が減少します

唾液や痰が貯まりゴロゴロという呼吸音が聞かれます

身体中の水分が少なくなっている状態です。痰がからみ苦しそうな時は、吸引の必要もあります。口内が乾燥したら、濡らしたガーゼや綿棒等で口内を湿らせたり、口内用の保湿剤を塗ったりします。



便や尿の失禁が見られます

だんだんと全身に筋力の低下が起こり、失禁が起こる事は自然なことです。時間をみて職員がケアをします。



呼びかけに返答がなくなります

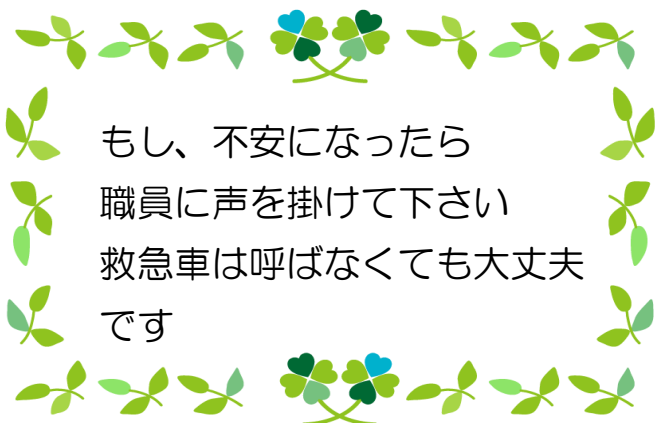
耳は最後まで聞こえていると言われていきます。
手を握ってあげて話しかけてみてください。
きっとその言葉や思いはご本人に伝わっています。

手足が冷たくなり、皮膚が紫色になることもあります

血液の流れが悪くなってきて、紫色（チアノーゼ）になります。
手足が冷たい時は掛け物や湯たんぽなどを用いて保温します。

呼吸の変化が現れます

呼吸がしばらく止まったり、不規則になってきます。
あごを持ち上げるような呼吸は、お別れが近づいているサインです。
慌てずに見守ってください。



もし、不安になったら
職員に声を掛けて下さい
救急車は呼ばなくても大丈夫
です



2. 旅立ちのとき

旅立ちが訪れるまでの身体の変化を経て、穏やかな最期が訪れます。職員をお呼びください。

- 呼吸が完全に止まり、胸やあごの動きがなくなります。
- 心臓の動きが止まり、脈が触れなくなります。
- 揺り動かしても、大声で呼んでも反応が全くなくなります。
- 手足の先の方から、徐々に紫色に色が変わってきます。

3. 旅立たれたあとに

- 旅たちが訪れたとき、ご本人と皆様の時間を大切にお過ごしください。どうぞ私達に気遣うことなく…。
- 医師が到着したら死亡確認を行います。死亡診断書を医師よりお受け取りください。
- 看護師、介護職員でお体をきれいにさせていただきます。ご家族（成年後見人 etc）も一緒に、お体をきれいにしてくだされば、本人も喜ばれることとおもいます。ご用意して頂いた服を着ていただきます。



悲しみがこみ上げてきたり、つらい気持ちになったりすること、後悔してしまう瞬間もあるかとおもいます。そのような気持ちの時には、無理に抑え込まず、私たちに想いをお聞かせください。大切な方をご家族様と共に支えたい。大切な方の気持ちを汲むこと。それが「看取り」なのです。

